㊥

令和７年

一般会計決算特別委員会会議録

自　令和　７　年１１月１９日
至　令和　７　年１１月２８日

草加八潮消防組合議会

令和７年

草加八潮消防組合議会一般会計決算特別委員会

会　議　録　目　次

第１回（１１月１９日、水）

本日の会議に付した事件 …… １
出席・欠席委員 …… ２
委員会に出席した議会担当職員 …… ２
開　　会 …… ３
委員長の互選について …… ３
副委員長の互選について …… ４
会議録署名委員の指名 …… ４
審査方法等について …… ５
閉　　会 …… ５

◇

第２回（１１月２８日、金）

本日の会議に付した事件 …… ７
出席・欠席委員 …… ８
説明のため出席した者（発言した者に限り記載） …… ８
委員会に出席した議会担当職員 …… ８
開　　会 …… ９
傍聴の許可 …… ９
委員長注意 …… ９
総括説明 …… ９
歳　　入 …… １０
１款　分担金及び負担金 …… １０
２款　使用料及び手数料 …… １０

３款　国庫支出金 …… １１
４款　財産収入 …… １２
５款　寄附金 …… １２
６款　繰越金 …… １２
７款　諸収入 …… １３
８款　組合債 …… １３
歳　　出 …… １４
１款１項　議会費 …… １４
２款１項　総務管理費 …… １４
答弁の保留 …… １６
２款２項　監査委員費 …… １６
３款１項　常備消防費 …… １６
答弁保留の答弁（２款１項） …… ２２
３款２項　非常備消防費 …… ２２
４款１項　公債費 …… ２３
５款１項　予備費 …… ２３
実質収支に関する調書 …… ２３
財産に関する調書 …… ２４
討　　論 …… ２５
採　　決 …… ２５
閉　　会 …… ２６

◇

署名委員 …… ２７

◇

参考資料

１　配付資料一覧表 …… １

第１回　１１月１９日（水曜日）

令和７年一般会計決算特別委員会会議録（第１回）

◇開 会 年 月 日　　令和７年１１月１９日（水曜日）

◇開 催 の 場 所　　八潮消防署　会議室Ａ

◇継続審査案件　　第１９号議案　令和６年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

（正・副委員長の互選について）

午前１０時３１分開会

◇出席委員　　６名

石川祐一	委員長	菊地慶太	委員
池谷　正	副委員長	木村忠義	委員
森　覚	委員	大泉芳行	委員

◇欠席委員　　なし

◇委員会に出席した議会担当職員

三垣紘子	書記 (企画課企画調整係長)	金子達郎	書記 （企画課主任）
山岡和彦	書記 (企画課主査)	金子忠弘	書記

◇傍 聴 人　　なし

◎書記長　ただいまから一般会計決算特別委員会を開催いただき、正・副委員長の互選をお願いするわけでございますが、その前に、当委員会の担当書記を紹介させていただきます。

三垣書記、山岡書記、金子達郎書記、金子忠弘書記でございます。

以上４名が担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、初めての委員会でございますので、委員会条例第６条第２項の規定によりまして、池谷委員に臨時委員長をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

〔書記長　退室〕

―――――――― ◇ ――――――――

午前１０時３１分開会

◎開会の宣告

○臨時委員長　ただいまから一般会計決算特別委員会を開会いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎委員長の互選について

○臨時委員長　初めに、委員長の互選を行います。

選出方法について、意見のある方は挙手をお願いいたします。

菊地委員。

○菊地委員　指名推選でお願いします。

○臨時委員長　ただいま菊地委員から指名推選という御提案がございました。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長　御異議がないようですので、指名推選により行います。

指名する方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。

菊地委員。

○菊地委員　石川委員を推選します。

○臨時委員長　ただいま菊地委員から委員長に石川委員をという御意見がございました。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長　御異議がないようですので、石川委員に委員長をお願いしたいと思います。

石川委員長、委員長席に御着席ください。

そして、就任のごあいさつをお願いいたします。

〔石川委員長、委員長席に着席〕

○委員長　ただいま、委員長に御推選いただきました石川でございます。委員会運営につきましては、皆様のお力添えを賜ることをお願いしまして、ごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎副委員長の互選について

○委員長　それでは、引き続きまして、副委員長の互選を行います。

選出方法について、意見のある方は挙手をお願いいたします。

大泉委員。

○大泉委員　指名推選でお願いします。

○委員長　ただいま大泉委員から指名推選という御提案がございました。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長　御異議がないようですので、指名推選により行います。

指名する方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。

大泉委員。

○大泉委員　池谷委員をお願いします。

○委員長　ただいま大泉委員から副委員長に池谷委員をという御意見がございました。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長　御異議がないようですので、池谷委員に副委員長をお願いしたいと思います。

池谷副委員長、副委員長席に御着席ください。

そして、就任のごあいさつをお願いいたします。

〔池谷副委員長、副委員長席に着席〕

○副委員長　ただいま、副委員長に御指名いただきました池谷と申します。私は消防組合議会議員が９年目となりますが、議員になった経緯は、私の地元にあった大瀬出張所が本署と統合したことによります。そして今、八潮消防署南分署の建設計画が始まりましたので、これが終わるまでは頑張りたいと思っております。分からないこともありますが、皆さん御協力のほどよろしくお願いいたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎会議録署名委員の指名

○委員長　次に、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、委員会条例第 26 条第４項の規定により、委員長において

菊　地　慶　太　委員

木　村　忠　義　委員

を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

暫時休憩いたします。

午前１０時３６分休憩

午前１０時４６分開議

○委員長　休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎審査方法等について

○委員長　審査方法等について御協議をいただきたいと思います。

協議会に切り替えてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長　御異議がないようですので、協議会に切り替えさせていただきます。

午前１０時４６分休憩

〔協　議　会〕

午前１０時５１分再開

○委員長　協議会を閉じまして、委員会を再開いたします。

ただいま御協議いただきましたとおり、まず、審査日程につきましては、11 月 28 日、金曜日、午前 10 時から、次に、審査方法については、初めに決算概要についての総括説明を求め、歳入については款ごとの審査、歳出については項ごとの審査を行い、次に、決算審査に係る資料の要求については、その報告期限を 11 月 25 日、火曜日の正午までとし、委員から要求された内容のものを委員会として執行部に要求することで、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長　御異議がないようですので、そのように決定させていただきます。

―――――――― ◇ ――――――――

◎閉会の宣告

○委員長　以上で、本日の一般会計決算特別委員会を終了いたします。

午前１０時５３分閉会

第２回　１１月２８日（金曜日）

令和７年一般会計決算特別委員会会議録（第２回）

◇開 会 年 月 日　　令和７年１１月２８日（金曜日）

◇開 催 の 場 所　　八潮消防署　視聴覚会議室

◇継続審査案件　　第１９号議案　令和６年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

午前１０時００分開会

◇出席委員　　６名

石川祐一	委員長	菊地慶太	委員
池谷　正	副委員長	木村忠義	委員
森　覚	委員	大泉芳行	委員

◇欠席委員　　なし

◇説明のため出席した者（発言した者に限り記載）

南雲　仁	消防局長	上田　巧	警防課長
竹内康行	消防局次長	野内　剛	草加消防署 消防第２課長
髙橋　明	総務課長		

◇委員会に出席した議会担当職員

三垣紘子	書記 （企画課企画調整係長）	金子達郎	書記 （企画課主任）
山岡和彦	書記 （企画課主査）	金子忠弘	書記

◇傍聴人　　なし

午前１０時００分開会

◎開会の宣告

○委員長　ただいまから一般会計決算特別委員会を開会いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎傍聴の許可

○委員長　初めに、傍聴については、随時許可することにいたしますので、御了承願います。

―――――――― ◇ ――――――――

◎委員長注意

○委員長　次に、委員の皆様にお願いを申し上げます。

限られた審査日数でありますので、委員の皆様の御協力をお願いいたしますとともに、決算審査の範疇での質疑をよろしくお願いいたします。

次に、執行部の皆様にお願いを申し上げます。

説明及び答弁につきましては、要点を捉えまして、簡潔明瞭に行っていただくようお願いいたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎総括説明

○委員長　第19号議案　令和６年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

初めに、決算概要について総括説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　消防局長の南雲でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

初めに、日ごろより消防行政に対しまして御理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

それでは、令和６年度事業にかかわります草加八潮消防組合の決算概要について御説明申し上げます。

草加八潮消防組合では、両構成市の厳しい財政状況を念頭に置きながら、経常的経費につきましては、事業や業務の総点検を行い、真に必要なものだけを計上し、最も効率的で効果的な執行が行われるよう、また新規・臨時的経費につきましては、政策的経費として高度化・複雑化する消防行政の各種課題に的確に対応していくため、最少の経費で最大の効果を得られるよう、予算編成方針を立てております。

構成市とのヒアリングでは予算削減要求もございましたが、消防活動に必要とする車両及び資機材については消防の予算をそぐことはできないことから、両構成市にはその重要性について御理解をいただき、令和６年度は草加消防署西分署及び草加消防署北分署に配

置されている高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の更新整備を行うとともに、大規模災害時における被害状況の早期把握のため、災害対応ドローン及び訓練用ドローンを新たに購入し、消防力の維持・向上に努めてまいりました。

草加八潮消防組合の歳入歳出決算額でございますが、予算現額64億2,868万9,840円に対しまして、収入済額は51億220万1,012円で収入率は79.4%、支出済額は41億8,548万2,412円で執行率は65.1%でございます。

以上が、令和６年度決算につきまして総括的な説明でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長　以上で、総括説明を終了いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎歳　　入

○委員長　次に、歳入の審査を行います。

１款　分担金及び負担金の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書10ページをお開き願います。

１款　分担金及び負担金につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は45億3,763万3,000円で、収入済額は45億3,763万3,000円、予算現額に対する収入率は100%でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと５億3,851万6,000円の増、率にしまして13.5%の増となっております。

構成市負担金は、草加八潮消防組合規約第15条の規定に定められておりますとおり、構成市が個別に負担する単独経費と、共同で処理するための共通経費の２種類がございます。共通経費の負担割合は、前年度１月１日現在の外国人を含む住民基本台帳人口の割合により算出され、令和６年度は草加市72.97%、八潮市27.03%となっております。

負担金収入の内訳でございますが、共通経費と単独経費を合わせた負担額は、草加市が34億862万8,000円、八潮市が11億2,900万5,000円となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、１款に対する質疑を終了いたします。

次に、２款　使用料及び手数料の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　同じく決算事項別明細書10ページ、２款　使用料及び手数料につきまして御説明を申し上げます。

まず、令和６年度の使用料及び手数料の総額について申し上げます。

予算現額は291万7,000円で、収入済額は

268万6,784円で、予算現額に対する収入率は92.1%でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと152万3,149円の減、率にして36.2%の減となっております。

次に、項ごとに収入済額と収入率、増減理由を申し上げます。

１項　使用料につきましては、収入済額82万6,800円、予算現額に対する収入率は121.8%、前年度決算額との比較では12万9,600円減少しております。

主な内容につきましては、職員駐車場使用料81万6,000円でございます。

前年度と比較し減額となりました要因といたしましては、職員駐車場使用料が約13万円の減となったことによるものでございます。

次に、２項　手数料につきましては、予算現額223万8,000円、収入済額185万9,984円、予算現額に対する収入率は83.1%、前年度決算額との比較では139万3,549円減少しております。

主な内容につきましては、危険物関係許可等手数料の181万600円でございます。

前年度と比較し減額となりました主な理由といたしましては、危険物関係許可等手数料が約138万円の減となったことによるものでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、２款に対する質疑を終了いたします。

次に、３款　国庫支出金の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　同じく決算事項別明細書10ページ、３款　国庫支出金につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は32万9,000円で、収入済額はゼロ円でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと2,899万8,000円の減となっております。

前年度と比較し減額となりました要因といたしましては、消防ポンプ自動車購入補助金及び高規格救急自動車購入補助金が皆減となったことによるものでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

池谷委員。

○池谷委員　今、国庫補助金で救急車の購入が皆減というふうに言われましたが、これは要するに買う予定だったけれども、買わなかったという意味なのか、そうではなくて、国庫補助の基準が変わってゼロになったということなのか、どちらでしょうか。

○委員長　警防課長。

○警防課長　国庫補助金減の理由につきましては、緊急消防援助隊に登録している車両の更新であれば国庫補助金が付与されるという

形で、今年度購入の車両につきましては緊急消防援助隊登録の車両ではございませんので、補助の対象となっておりません。

以上でございます。

○委員長　ほかにございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、３款に対する質疑を終了いたします。

次に、４款　財産収入の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書12ページをお開きください。

４款　財産収入につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は444万3,000円で、収入済額は416万8,582円、予算現額に対する収入率は93.8％でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと38万2,008円の減、率にしまして8.4％の減となっております。

内容につきましては、自動販売機設置場所賃借料でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、４款に対する質疑を終了いたします。

次に、５款　寄附金の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、同じく決算事項別明細書12ページ、５款　寄附金につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は1,000円で、収入済額はゼロ円でございます。

なお、前年度の決算額もゼロ円となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、５款に対する質疑を終了いたします。

次に、６款　繰越金の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、同じく決算事項別明細書12ページ、６款　繰越金につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は４億840万6,840円で、収入済額は４億840万5,948円でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと１億5,261万1,445円の増、率にしまして59.7％の増となっております。

内容につきましては、繰越金（前年度の実質収支額）が２億3,404万2,108円及び前年度からの財源充当額１億7,436万3,840円でございます。

前年度と比較し増額となりました要因といたしましては、先ほど申し上げました繰越金（前年度の実質収支額）が約1,490万円の増、

前年度からの財源充当額が約１億3,770万円の増となったことによるものでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、６款に対する質疑を終了いたします。

次に、７款　諸収入の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、同じく決算事項別明細書12ページ、７款　諸収入につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は266万円で、収入済額は500万6,698円、予算現額に対する収入率は188.2%でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと９万1,660円の減、率にしまして1.8%の減となっております。

次に、項ごとに収入済額と収入率、増減理由を申し上げます。

１項　預金利子につきましては、予算現額1,000円、収入済額はゼロ円でございます。

なお、前年度の決算額もゼロ円となっております。

２項　受託事業収入につきましては、予算現額142万4,000円、収入済額73万1,490円、予算現額に対する収入率は51.4%。

前年度決算額との比較では69万2,630円減少しております。

内容につきましては、東京外環自動車国道救急業務支弁金でございます。

３項　雑入につきましては、予算現額123万5,000円、収入済額427万5,208円、予算現額に対する収入率は346.2%。

前年度決算額との比較では60万970円増加しております。

主な内容につきましては、消防指令業務共同運用負担金返還金176万9,027円でございます。

前年度と比較し増額となりました主な要因といたしましては、先ほど申し上げました消防指令業務共同運用負担金返還金が皆増となったことによるものでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、７款に対する質疑を終了いたします。

次に、８款　組合債の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書14ページをお開きください。

８款　組合債につきまして御説明を申し上げます。

予算現額は14億7,230万円で、収入済額は１億4,430万円、予算現額に対する収入率は9.8%でございます。

前年度の決算額と比較いたしますと1,200

万円の増、率にして9.1％の増となっております。

主な内容につきましては、消防車両整備事業債6,070万円でございます。

前年度と比較し増額となりました主な要因といたしましては、消防団施設整備事業債が1,330万円の増となったことによるものでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、８款に対する質疑を終了いたします。

以上で、歳入の審査を終了いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎歳　　出

○委員長　次に、歳出の審査を行います。

１款１項　議会費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書18ページ、行政報告書５ページをお開き願います。

１款１項　議会費につきまして御説明申し上げます。

予算現額214万1,000円に対し、支出済額は54万2,798円で、執行率は25.4％でございます。

主な内容といたしましては、議員報酬に係る経費でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、１款１項に対する質疑を終了いたします。

次に、２款１項　総務管理費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書は18ページから、行政報告書は６ページからとなります。

２款１項　総務管理費につきまして御説明申し上げます。

予算現額２億7,638万7,000円に対し、支出済額は２億7,193万3,107円で、予算現額に対する執行率は98.4％でございます。

１目　一般管理費につきましては、支出済額は934万2,259円で、予算現額に対する執行率は86.3％でございます。

主な内容といたしましては、消防事務システム（人事給与システム・財務会計システム）の保守委託、職員の健康診断受診料負担金などの経費でございます。

２目　文書広報費につきましては、支出済額は386万7,382円で、予算現額に対する執行率は72.1％でございます。

主な内容といたしましては、例規システム

の保守委託、消防長会関係の負担金などの経費でございます。

次に、３目　企画財務費につきましては、支出済額は２億3,518万9,814円で、予算現額に対する執行率は99.9％でございます。

主な内容といたしましては、前年度繰越金に係る構成市への返還金などの経費でございます。

次に、４目　情報管理費につきましては、支出済額は2,351万8,652円で、予算現額に対する執行率は94.9％でございます。

主な内容といたしましては、「草加市及び草加八潮消防組合との間における電算システム・ＯＡ機器借上げに関する事務についての覚書」に基づきまして、草加市に実施していただいておりますＯＡ機器の借り上げ及び運用管理に関する事務に係る費用並びにコピー用紙及びプリンター等の消耗品に係る経費でございます。

次に、５目　公平委員会費につきましては、支出済額は１万5,000円で、予算現額に対する執行率は34.1％でございます。

内容といたしましては、公平委員会委員の報酬に係る経費でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

池谷委員。

○池谷委員　決算事項別明細書の21ページのところで、福利厚生事業ということで公務災害補償費30万円と計上されています。決算されていますが、これについての説明をお願いできますか。

○委員長　総務課長。

○総務課長　福利厚生事業の公務災害補償費30万円について御答弁申し上げます。

これに関しましては、草加八潮消防組合職員公務災害等見舞金支給条例に基づき支出するもので、職員が公務上負傷し、もしくは疾病にかかり、または通勤により負傷した際に療養見舞金として職員に支給するものでございます。

30万円の内訳でございますが、公務災害として認められた７名の職員に対し、その療養期間に応じ、それぞれ条例で定められた療養見舞金を支給したものでございます。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　今７名が支給対象ということですが、例の陥没事故にかかわってけがをした方がお２人、先日ですか、マスコミの報道でもまだ１名が療養中ということですが、この方も含めてということでよろしいでしょうか。

○委員長　総務課長。

○総務課長　職員が負傷しますと、その認定までにおよそ１年程度かかることがございます。ですので、この７名の中には陥没事故で負傷した職員２名は含まれてございません。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　業務上でけがをしたとか、つまり搬送中とか救急の業務上で、この７名のうちけがをしたとか、例えば熱中症とか、いろんな状況があります。そういう方はこの中で何名いらして、その内容などの説明をお願いできればと思います。

○委員長　総務課長。

○総務課長　この７名の内訳でございますが、災害現場での負傷が２件、勤務中の事故が１件、訓練中の事故が１件、通勤途上での事故、災害が３件、以上、計７名となっております。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　その災害救助中のけがということで、例えばどんなケースでどの程度のけがになったかというのは分かりますでしょうか。

―――――――― ◇ ――――――――

◎答弁の保留

○委員長　総務課長。

○総務課長　申し訳ございません。少しお時間をいただきたいので、答弁保留、よろしいでしょうか。

○委員長　池谷委員、答弁保留ということでよろしいですか。

○池谷委員　はい。

○委員長　それでは、先に進めさせていただきます。

―――――――― ◇ ――――――――

○委員長　ほかにございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、答弁保留部分を残しまして、２款１項に対する質疑を終了いたします。

次に、２款２項　監査委員費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書22ページ、行政報告書８ページをお開き願います。

２款２項　監査委員費につきまして御説明申し上げます。

予算現額27万円に対し、支出済額は20万5,000円で、予算現額に対する執行率は75.9％でございます。

内容といたしましては、監査委員の報酬に係る経費でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、２款２項に対する質疑を終了いたします。

次に、３款１項　常備消防費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書は

24ページから、行政報告書は９ページからとなります。

３款１項　常備消防費につきまして御説明申し上げます。

予算現額57億1,678万8,000円に対し、支出済額は35億3,765万8,752円で、予算現額に対する執行率は61.9％でございます。

１目　職員給与費につきましては、支出済額は30億2,950万4,590円で、予算現額に対する執行率は98.8％でございます。

内容といたしましては、人件費でございますが、節別に御説明申し上げます。

まず、１節　報酬は、支出済額133万6,200円で、前年度決算額との比較で16万6,260円の増、率にいたしまして14.2％の増となっております。

次に、２節　給料は、支出済額13億4,280万2,995円で、前年度決算額との比較で7,122万1,643円の増、率にしまして5.6％の増となっております。

次に、３節　職員手当等は、支出済額10億4,213万2,758円で、前年度決算額との比較で6,032万5,920円の増、率にして6.1％の増となっております。

次に、４節　共済費は、支出済額４億4,933万4,551円で、前年度決算額との比較で633万6,282円の増、率にして1.4％の増となっております。

次に、８節　旅費は、支出済額17万5,392円で、前年度決算額との比較で2,240円の減、率にして1.3％の減となっております。

次に、18節　負担金、補助及び交付金は、支出済額１億9,372万2,694円で、前年度決算額との比較で541万2,812円の減、率にして2.7％の減となっております。

２目　消防総務費につきましては、支出済額は5,020万7,856円で、予算現額に対する執行率は92.7％でございます。

主な内容といたしましては、職員の被服費、埼玉県消防学校や救急救命士養成所への負担金などの経費でございます。

３目　火災予防費につきましては、支出済額は160万5,221円で、予算現額に対する執行率は75.4％でございます。

主な内容といたしましては、火災原因調査に使用する備品及び消耗品に係る経費でございます。

次に、４目　警防業務費につきましては、支出済額は１億7,913万8,910円で、予算現額に対する執行率は86.8％でございます。

主な内容といたしましては、高規格救急自動車及び連絡車の購入に係る経費でございます。

次に、５目　救急業務費につきましては、支出済額は4,343万2,112円で、予算現額に対する執行率は88.3％でございます。

主な内容といたしましては、ＡＥＤの借り上げ、救急活動に使用する医薬材料の購入に係る経費でございます。

次に、６目　指令業務費につきましては、

支出済額は8,578万8,534円で、予算現額に対する執行率は95.9%でございます。

主な内容といたしましては、高機能消防指令システム保守点検委託に係る経費でございます。

次に、７目　消防庁舎管理費につきましては、支出済額は5,520万7,138円で、予算現額に対する執行率は76.8%でございます。

主な内容といたしましては、消防庁舎の光熱水費に係る経費でございます。

次に、８目　消防庁舎整備費につきましては、支出済額は746万8,567円で、予算現額に対する執行率は0.4%でございます。

主な内容といたしましては、消防庁舎の修繕に係る経費でございます。

なお、翌年度繰越額のうち継続費逓次繰越としての委託料3,343万5,000円及び工事請負費18億2,976万8,000円につきましては、草加消防署（消防局機能含む）の建設に係る監理業務委託料及び建設工事費でございます。

次に、９目　消防水利費につきましては、支出済額は8,530万5,824円で、予算現額に対する執行率は72.3%でございます。

主な内容といたしましては、防火水槽解体工事並びに消火栓新設及び修繕に係る経費でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

菊地委員。

○菊地委員　４目の警防業務費についてでございます。令和６年度もそうだと思うんですけれども、昨今の物価高の影響で資機材等々の値段ももしかすると上がっているのかなということが想定されますけれども、当初予算どおりに、そういった計画どおりに購入できたのか、あるいは値上がりの影響によって購入を先送りにしたものもあるのかどうか、お伺いいたします。

○委員長　草加消防署消防第２課長。

○草加消防署消防第２課長　資機材の購入について御答弁申し上げます。

資機材の購入については物価高騰を見越して計上しておりまして、資機材の購入に関して影響は出ておりません。

以上でございます。

○委員長　ほかにございますか。

大泉委員。

○大泉委員　決算事項別明細書のページで言いますと27ページ、２目の委託料のところですけれども、メンタルヘルス相談業務委託料の2,000円ですけれども、金額が少なくて、実際にどのように業務が執行されているのか、その状況についてお伺いいたします。

○委員長　総務課長。

○総務課長　メンタルヘルス相談業務委託料の2,000円がどのように使われたかについてでございますけれども、当組合では職員のメンタルヘルスに関する相談を受け付けるために、相談業務委託料の契約先として、一般社

団法人プロボノ消防志というところと契約をさせていただいております。これの相談のメニューなんですけれども、対面での面談、あとはオンライン、それと電子メールでの面談をすることが可能でございまして、令和６年度につきましては電子メールでの相談、職員からの相談が１件ございまして、それが１件で2,000円ということでございます。

以上でございます。

○委員長　ほかにございますか。

池谷委員。

○池谷委員　決算事項別明細書で25ページの職員給与費の関係なんですが、決算審査意見書のところで、15ページに「職員の退職等及び任用の状況」というのが一覧が出ておりまして、令和６年４月１日の実員数が331人というふうに出ているんです。それでその下の括弧の注意書きで、条例定数が359人というふうに書かれておりまして、この差が素人目で見ると埋まっていないというようにちょっと考えてしまうのですが、この件について御説明をお願いできますでしょうか。

○委員長　総務課長。

○総務課長　条例定数359人と実員数331人の差異についての御質疑でございますが、359人は草加八潮消防組合職員定数条例で定められております職員の定数でございまして、331人は、令和６年４月１日現在で在籍する定数内職員329人に両構成市に現在派遣中でございます定数外の職員２名を足した数字となっております。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　素人考えで恐縮なんですが、条例ではつまり359人は認められていて、それだけ雇ってもいいですよということになっているわけですね。昨今のこういういろいろな、コロナ禍も経て、また、気候なんかで熱中症関係で業務は大変になっているわけなので、これを定員いっぱい、とにかく必要ではないかというふうに素人目では考えてしまうのですが、そういうふうなところでは何か検討している、つまり331でいいと。ではなくて、もっと財源があればさらに増やしたいというのが消防本部としては考えているのか。その支障となっているのは構成市のお金の問題ということなのか、その辺をちょっと説明をお願いできますか。

○委員長　総務課長。

○総務課長　委員さんのおっしゃるとおりなんですけれども、やはり人件費というのは一番、うちの組合の予算の中でも大部分を占めるものでございまして、その兼ね合いもございます。

条例定数なんですけれども、これは令和５年４月１日に改正し、331人から職員定数が359人になりました。その主な目的でございますけれども、将来的に迎える職員の単年度における大量退職に備えまして、安定的な消防力を維持するために育成する期間を含めま

しての段階的に職員の増員を図るものでございます。これには職員定数管理計画及び職員採用計画に基づきまして、計画的に職員数を管理していくという目的がございます。

また、課題として、もう一つ、現在ばらつきのある職員の年齢構成というのがございます。その年齢構成の平準化を併せて調整する目的もございますので、条例定数の上限まで短期間で増員するというものではないものと考えております。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　分かりました。決算審査意見書の15ページにも年齢区分別のグラフが出ていますので、そういうことも考慮してということの説明ですので、分かりました。

ただ、例えばこの間の陥没事故でまだお一人が復帰できていないということがありますけれども、私は学校現場にいたものですから、普通けがとか病気とかになれば、すぐに補助の先生が来るわけですけれども、消防というのはまだ１名復帰できてないということに対して、それは即募集をしたり、あるいは応援体制を補給するというふうなことにはなっていないのですか。

○委員長　総務課長。

○総務課長　事故で負傷した職員の補充に関する体制でございますけれども、やはり１名を採用するというところは、事務量とあと期間的なものも含めまして現実的ではないというところで、今いる職員の中で、職員の皆様には御苦労をおかけしているところではございますが、何とか対応していただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　年齢構成もあって、平準化を図るということで採用なども考えているということなんですが、主な理由として、例えば構成市の財源がほとんどですので、こういう救急の必要性は、さまざまな高齢化社会と、それから、気候の温暖化での問題とか、あるいは風水害も含めて異常気象の影響で大変な事態になっているということで、それは社会的な要因としては明らかになっているわけですので、例えばさらに定数に、359人に近づけるような財源を保障すれば、消防本部としては確保したいというふうに考えてよろしいでしょうか。つまりお金がないのでなかなかそこまでいかない。でも構成市が財源をある程度出すということになれば、消防としては喉から手が出るほど必要というふうに考えているかということなんです。答えづらいと思いますが。

○委員長　消防局次長。

○消防局次長　先ほどの質疑に御答弁申し上げます。

まずは総務課長が申しておりました職員の年齢のばらつきを平準化するというのも一つですけれども、その前に、１年に12名とか14

名とか退職する人がこれから先出てくるわけですね。今採用している内容ですと辞めた人数を確保するというような採用方法でございました。それだと、消防職員は採用してから現場で活動するためには、消防車を運転したり、あるいは一人で活動するためには３年から５年くらいかかるというところで、段階的に職員を増やして、大量退職時でも消防力を維持するような形で職員定数管理計画というものを立てました。その内容を両構成市に説明して条例定数を変えたところでございますけれども、その中でも当然一気に人を上げるということは説明はしてなくて、当然、段階的に、総務課でいいますと今度は採用計画というものもございまして、その中で職員の年齢構成のばらつき等も勘案して徐々に採用していくような形を取っているところでございます。

○委員長　ほかにございますか。

　大泉委員。

○大泉委員　決算事項別明細書でいいますと、29ページの４目　警防業務費の消防活動事業の消防局のところの機械器具費、購入費かと思うんですけれども、こちらの行政報告書で言うと12ページのドローンについてなんですけれども、新規に購入したとありまして、災害対応ドローンが１機、訓練用ドローン２機ということでありますけれども、それぞれどのように配備しているか、使えるようにどういうふうにしているかというところの御説明をお願いいたします。

○委員長　警防課長。

○警防課長　災害対応ドローンについて御答弁申し上げます。

　まず、災害対応ドローンの配備箇所は消防局警防課のほうで保有し、現時点ではまだドローンの台数が１台ということで、日勤の職員で運用しております。

　以上でございます。

○委員長　大泉委員。

○大泉委員　使用した回数といいますか、稼働した状況みたいなものを教えていただけますでしょうか。

○委員長　警防課長。

○警防課長　ドローンにつきましては、昨年度購入したのですが、ドローンに関する登録に時間がかかりまして、現時点ではまだ災害での飛行実績はゼロという形になります。

　以上でございます。

○委員長　大泉委員。

○大泉委員　すみません、今の続きですけれども、登録はもう済んでいて稼働できる状況であるけれども、そういった状況はなかったという認識でよろしいのでしょうか。

○委員長　警防課長。

○警防課長　現時点ではそのとおりでございます。

○委員長　ほかにございますか。

　　〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、３款

１項に対する質疑を終了いたします。

――――――――― ◇ ―――――――――

◎答弁保留の答弁（２款１項）

○委員長　先ほどの２款１項における答弁保留部分の答弁を求めます。

総務課長。

○総務課長　貴重なお時間をいただきありがとうございます。

先ほどの公務災害補償費、公務災害等見舞金につきまして御答弁申し上げます。

災害現場で負傷した２名に関する内容でございますが、個人情報を一部含んでいるため、なかなか詳細まではお伝えできませんが、１名は令和４年９月に火災現場の活動中に上から瓦が降ってきて、それが当たり負傷したものでございます。もう１名は、令和５年７月、救急活動中に転倒して足を負傷したといったような内容でございます。

以上でございます。

○委員長　池谷委員、よろしいですか。

○池谷委員　はい。

○委員長　以上で、２款１項に対する質疑を終了いたします。

――――――――― ◇ ―――――――――

○委員長　次に、３款２項　非常備消防費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書は40ページから、行政報告書は17ページからとなります。

３款２項　非常備消防費につきまして御説明申し上げます。

予算現額１億9,095万4,840円に対し、支出済額は１億5,986万3,307円で、予算現額に対する執行率は83.7％でございます。

次に、１目　消防団運営費につきましては、支出済額は5,735万8,537円で、予算現額に対する執行率は78.7％でございます。

主な内容といたしましては、草加市消防団員及び八潮市消防団員の報酬などの経費でございます。

次に、２目　消防団車両費につきましては、支出済額は5,074万8,054円で、予算現額に対する執行率は91.0％でございます。

主な内容といたしましては、草加市消防団及び八潮市消防団の消防ポンプ自動車の購入に係る経費でございます。

次に、３目　消防団施設管理費につきましては、支出済額は294万7,602円で、予算現額に対する執行率は90.4％でございます。

主な内容といたしましては、草加市消防団及び八潮市消防団の機械器具置場に係る光熱水費などの経費でございます。

次に、４目　消防団施設整備費につきましては、支出済額は4,880万9,114円で、予算現額に対する執行率は82.7％でございます。

主な内容といたしましては、草加市消防団第１分団第１部の機械器具置場建設工事に係る経費でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、３款２項に対する質疑を終了いたします。

次に、４款１項　公債費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書46ページをお開き願います。

４款１項　公債費につきまして御説明申し上げます。

予算現額２億3,214万9,000円に対し、支出済額は２億1,527万9,448円で、予算現額に対する執行率は92.7％でございます。

次に、１目　元金につきましては、支出済額は２億1,422万5,446円で、予算現額に対する執行率は100％でございます。

次に、２目　利子につきましては、支出済額は105万4,002円で、予算現額に対する執行率は5.9％でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、４款１項に対する質疑を終了いたします。

次に、５款１項　予備費の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、決算事項別明細書48ページをお開き願います。

５款１項　予備費につきまして御説明申し上げます。

当初予算額1,000万円に対しまして、他の支出科目に充用した額はございませんでした。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、５款１項に対する質疑を終了いたします。

以上で、歳出の審査を終了いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎実質収支に関する調書

○委員長　次に、実質収支に関する調書の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　それでは、51ページをお開き願います。

実質収支に関する調書につきまして御説明申し上げます。

令和６年度につきましては、歳入総額51億220万1,012円、歳出総額41億8,548万2,412円で、歳入歳出差引額９億1,671万8,600円でございます。

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源７億3,820万3,000円を控除した額が実質収支額で、１億7,851万5,600円でございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、実質収支に関する調書に対する質疑を終了いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎財産に関する調書

○委員長　次に、財産に関する調書の説明を求めます。

消防局長。

○消防局長　財産に関する調書につきまして御説明申し上げます。

54ページ、55ページをお開き願います。

公有財産の土地及び建物についてでございますが、土地につきましては令和６年度中の増減はなく、年度末の現在高は１万7,198㎡となっております。

建物につきましては、木造・非木造を合わせまして令和６年度中の増減は39㎡の増加、年度末の現在高は１万782㎡でございます。

内容といたしましては草加市消防団第１分団第１部機械器具置場の改修による増加でございます。

56ページ、57ページの物品につきましては、お手元の資料に記載したとおりでございます。

説明は、以上でございます。

○委員長　執行部の説明が終わりました。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

池谷委員。

○池谷委員　56ページの物品の車両のところなんですが、救急車が12台ということで、増減も含めて２台の入替えがあって、年度末も12台ということです。それで一応草加のほうは本署も含めて５か所体制で、八潮は１か所本署で、都合全部で６本署・分署になると思うんですが、そうすると各消防分署には１台、そして本署に２台という、草加と八潮のほうに２台という計算だと思うんですけれども、消防年報のほうでも救急出動件数、ページでいうと年報の55ページのところにこの間の出動件数が出ていて、いずれも過去最高を記録していて、令和６年で言うと１万9,000を超える救急出動、そして搬送も１万4,000ということになっていまして、コロナの関係で令和４年、５年、６年が突出しているわけですが、こういう状況で救急車の台数が逼迫しているというか、というのは素人考えで思うんですけれども、その辺の現状というのは、状況がもし分かれば教えてもらいたいです。

○委員長　警防課長。

○警防課長　救急車両の確保という認識で御答弁をいたします。

消防力の整備指針上の救急車の台数につき

ましては、実働が10台、予備車が２台ということで確保はできております。ただ、やはり近年の救急出動件数の増加により救急車が不足する場面もございます。また、車両更新計画で更新年数を定めておりますが、救急車の故障等による運用停止を避けるため、更新年数の短縮につきましても、さらなる検討が必要だというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長　池谷委員。

○池谷委員　これだけ出動回数が増えてくると、今御答弁がありましたが、逼迫する場面もあるということで、例えば要するに救助を求めている側からすると一刻も早く来てほしい。だけれども、今該当の地域では出動中で、それに対応するには、また別のところから呼ばなくてはいけないとか、そういう意味での逼迫したという具体的な例がもし何かあれば、少し紹介していただけるとありがたいのですが。

○委員長　警防課長。

○警防課長　先ほどの池谷委員からの逼迫の状況というお話ですけれども、基本的に各署が持っている管轄内へ出動できないというケースはごくごくあります。私が申し上げた逼迫というものは、管内の救急車10台が全部出払っている上で、さらなる救急要請が入ってしまったという意味でございます。

以上でございます。

○委員長　ほかにございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、財産に関する調書に対する質疑を終了いたします。

以上で、当委員会に付託されております第19号議案　令和６年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する質疑を終了いたします。

暫時休憩いたします。

午前１１時０５分休憩

〔執行部　退室〕

午前１１時０７分開議

○委員長　休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎討　　論

○委員長　討論を行います。

討論のある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長　ないようでございますので、討論を終了いたします。

―――――――― ◇ ――――――――

◎採　　決

○委員長　直ちに採決を行います。

第19号議案　令和６年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算の認定については、認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○委員長　挙手全員であります。

よって、第19号議案は認定されました。

―――――――― ◇ ――――――――

◎閉会の宣告

○委員長　以上で、一般会計決算特別委員会を終了いたします。

午前１１時０８分閉会

委員長	石	川	祐	一
臨時委員長	池	谷		正
署名委員	菊	地	慶	太
署名委員	木	村	忠	義

参　考　資　料

配付資料一覧表

資料番号	資　　料　　名	配付日
1	令和６年度草加八潮消防組合一般会計当初予算編成方針について（通知）	R 7.11.7
2	車両更新計画（平成２９年度～令和８年度）	R 7.11.7